

2016(平成28)年度 塾長賞・塾長奨励賞

塾長賞・塾長奨励賞は、学術・芸術・社会活動・文化活動などの各分野において、学生の範となる活躍をした塾生を表彰するものです。2016(平成28)年度は、塾長賞に2件2名、塾長奨励賞に1件1名が選ばれました。

塾長賞・塾長奨励賞について

塾長賞・塾長奨励賞は、正課の学業のみではなく、体育活動、芸術・文化活動、社会活動などの幅広い活動を通して優れた成果を上げた塾生を表彰するものです。基準は端的に言えば、その学業や業績が「慶應義塾の存在自体の光輝となるもの」かどうかという点につきまます。

2016年度は、10件の推薦が得られ、慎重な選考の結果、2件2名が塾長賞、1件1名が塾長奨励賞の荣誉に輝きました。毛利君(文学部4年)は、パガニーニ



毛利文香君

国際ヴァイオリンコンクールにて2位入賞を果たすなど、国際的に高く評価され、その業績が国内外に広く知



小林英理子君

られることとなり、小林君(法学部3年)は国内の著

名なバレエコンクールで優勝し、これからの国際的な活躍が大いに期待されます。

盛君(環境情報学部4年)はDJの世界大会にて優勝し、その分野における第一人者となりました。どの業績も個性にあふれ、大学入学以前からの並々ならぬ研鑽によってなされた業績です。自分の専門とする領域の勉学はもちろんのこと、それ以外の活動でもスペシャリストとすることは、慶應義塾の「幅広い人間を育てる」という教育理念を体現していると言えます。

塾長賞審査委員会前委員長・文学部教授

井 新



盛雄登君(左から3人目)

とするべく、受賞者に続いてさまざまな領域で「光輝」を放つ存在となることに心から期待しています。

受賞者の皆さんが慶應義塾という存在を照り輝かせる光だとすれば、それは慶應義塾の塾生や卒業生のみならず、社会の人々がみな、その光をあたかも灯台の光を仰ぎ見るかのように注目することでしょう。これはもちろん、受賞者には大変な光栄ですが、同時に、大きな責任もついて回ることでしょう。しかし、どのような中にあっても、燃え尽きてしまふことなく、社会を先導する光を放ち続けてほしいと願ってやみません。そして、塾生諸君が、人生をより豊かなものとするべく、受賞者に続いてさまざまな領域で「光輝」を放つ存在となることに心から期待しています。

塾長賞

■「第54回パガニーニ国際ヴァイオリンコンクール」第2位入賞



写真：森藤レオン

文学部独文学専攻4年
もうりふみか
毛利文香君

毛利君は、大学入学以前よりヴァイオリン奏者として活躍し、大学入学後、若手ヴァイオリニストの国際的なコンクールとしては最高峰のひとつとされる、「パガニーニ国際ヴァイオリンコンクール」において第2位入賞を果たしました。また、複数の国際コンクールにおいても高い評価を獲得しています。勉学に勤しみながら国際的に活躍する姿は塾生の模範となるものであり、慶應義塾の誇りとするところです。

「このような素晴らしい賞を受賞でき、心より光栄に思います。音楽家として、そして人として、ますます成長できるよう、日々こつこつ精進してまいります」

■「第19回NBA全国バレエコンクール バレエ部門シニア女性の部」第1位 「第73回全国舞踊コンクール バレエ第1部」第1位



法学部法律学科3年
こばやしえりこ
小林英理子君

「NBA全国バレエコンクール」は日本有数の大規模な全国コンクールであり、国際的な基準で厳しく評価されるレベルの高い大会です。また、「全国舞踊コンクール」は日本で最も歴史のあるバレエコンクールで、最高レベルとも言われています。両大会において第1位を獲得したことは、確かな実力を示すものです。学業を疎かにすることなく、自己研鑽し積み上げた同君の業績は慶應義塾の誇りとするところです。

「16年間毎日のように練習を重ねるなかで、気づけばバレエは私の生活の中心にあり人生に欠かせないものとなっています。今回その集大成として塾長賞をいただけたことを大変嬉しく思います。推薦者の片山杜秀教授にこの場を借りてお礼を申し上げます」

塾長奨励賞

■「DMC WORLD DJ CHAMPIONSHIPS 2016 Single Category」優勝



環境情報学部4年
もりゆうと
盛雄登君

「DMC WORLD DJ CHAMPIONSHIPS 2016 Single Category」は、プロ・アマチュア・年齢・国籍を区別せず、全世界のDJに広く開かれた大会です。同大会での優勝は世界最高のDJの証であると言われています。盛君は初出場ながら高い評価を獲得し、見事優勝しました。同大会での優勝は、日本人3人目となる快挙です。学業と両立し、成しえた業績は同君のたゆまぬ研鑽の賜物であり、その活躍は慶應義塾の誇りとするところです。

「今回はこのような賞をいただけて大変嬉しく思います。推薦して下さった武藤教授に感謝しています。これからも精進し、国内のみならず海外でも活動していけるよう頑張ります」